

岸さん2年連続の特選

読売書法展調和体部門

「入院の母にいい報告」

伊達

第28回読売書法展（読売新聞社、読売書法会主催）で、伊達市南樺町266・64室蘭書道連盟理事、岸さち子さん（62）が調和体部門で特選に輝いた。公募・会友対象の中では最も上位の評価で、2年連続の受賞。「書道の世界に導いてくれた母に、いい報告ができます」と喜んでいる。

（伊藤教雄）

童謡「故郷」の歌詞を作品に

公募・会友作品は2万759点の応募があり、全国で413点が特選に選ばれた。室蘭地方では岸さん1人。

童謡「故郷」の歌詞の1番を漢字とかな交じりの調和体で書き上げた。「出品まで3カ月を費やし、墨の線を練り上げ、故郷の情景が思い浮かぶように仕上げた」と話す。

伊達書道連盟の役員も務めているが、書道を本格的に始めたのは35歳の時。洞

爺湖町栄町で書道塾を主宰していた母親、佐藤シズエさん（89）の書に打ち込む姿に打たれて筆を持つようになった。室蘭の書道家、故長谷川暹牛氏に師事して実力を磨いた。

国内トップレベルの同展には10年ほど前から出品しており、これまでに入選、秀逸も重ねてきた。「今回は体調を崩して入院している母への思い出、生まれてきた有珠の浜辺などを思い描きながら気持ちを込めて筆を運んだ」と創作過程を振り返っている。



特選に選ばれた岸さち子さんの作品「故郷」

伊達書道連盟の役員も務めているが、書道を本格的に始めたのは35歳の時。洞爺湖町栄町で書道塾を主宰していた母親、佐藤シズエさん（89）の書に打ち込む姿に打たれて筆を持つようになった。室蘭の書道家、故長谷川暹牛氏に師事して実力を磨いた。

国内トップレベルの同展には10年ほど前から出品しており、これまでに入選、秀逸も重ねてきた。「今回は体調を崩して入院している母への思い出、生まれてきた有珠の浜辺などを思い描きながら気持ちを込めて筆を運んだ」と創作過程を振り返っている。